

令和6年度 危険物取扱者試験 試験案内

一般財団法人 消防試験研究センター青森県支部

試験手数料に関する重要なお知らせ

令和6年5月1日から試験手数料が改定されます。
 青森県で受験される方は、この試験案内の7ページ「試験手数料の払込み」をご確認のうえ、金額に誤りがないよう払い込みをお願いします。
 ※旧試験手数料で払い込まれた方は、差額の払い込みが必要になります。

試験案内は、最後までよく読んで、お申し込みください。
 申し込んだ方は、試験案内に記載された全ての事項に同意したものとみなします。
 ※試験案内・受験願書・センター所定の払込用紙の3点1セット揃っているか確認してください。

消防法（昭和23年法律第186号）第13条の5第1項の規定により青森県知事から委任された危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

試験日程：全試験日とも甲種、乙種全類及び丙種の試験を実施します。

1 試験日1種類のみ受験できます。ただし、条件付きで乙種を複数種類受験が可能です。(5ページ参照)
 異なる試験日であれば年度内の試験を何度でも受験可能です(試験日ごとに願書の作成が必要です)。
 ※全試験日・全試験種類とも、試験室への集合時間は午前9時30分、試験開始時刻は午前10時00です。

試験日	受験地	試験会場	駐車場	願書受付期間	合格発表予定日	
				書面・電子申請		
6月8日(土)	八戸市	ユートリ	有(有料)	5月1日(水) 5月13日(月)	6月26日(水)	
6月9日(日)	青森市	青森県観光物産館アスパム	有(有料)		6月27日(木)	
6月15日(土)	むつ市	プラザホテルむつ	有		7月3日(水)	
6月16日(日)	青森市	青森県観光物産館アスパム	有(有料)		7月4日(木)	
	八戸市	ユートリ	有(有料)			
6月22日(土)	弘前市	弘前工業高等学校	有			7月10日(水)
	十和田市	十和田工業高等学校	無			
6月23日(日)	五所川原市	五所川原第一高等学校	有			7月11日(木)
8月31日(土)	弘前市	弘前工業高等学校	有		7月12日(金) 7月22日(月)	9月19日(木)
	八戸市	ユートリ	有(有料)			
9月1日(日)	青森市	青森県観光物産館アスパム	有(有料)		9月20日(金)	
11月2日(土)	八戸市	ユートリ	有(有料)	9月20日(金) 9月30日(月)	11月21日(木)	
	むつ市	プラザホテルむつ	有			
11月3日(日)	青森市	青森県観光物産館アスパム	有(有料)		11月22日(金)	
11月9日(土)	弘前市	弘前東高等学校	無			11月27日(水)
	十和田市	十和田工業高等学校	無			
11月10日(日)	五所川原市	五所川原第一高等学校	有			11月28日(木)
11月16日(土)	八戸市	ユートリ	有(有料)			12月4日(水)
	十和田市	十和田工業高等学校	無			
11月17日(日)	青森市	青森県観光物産館アスパム	有(有料)			12月5日(木)
令和7年 1月25日(土)	青森市	青森県観光物産館アスパム	有(有料)		12月6日(金) 12月16日(月)	令和7年 2月13日(木)
	弘前市	弘前東高等学校	無			
	八戸市	ユートリ	有(有料)			

注意事項について

- ①合格発表は、合格発表予定日より早まる場合があります。
- ②受験申請者数が試験会場の収容人数を超えた場合は、試験時間を午前と午後に分けて実施又は別の試験日、試験会場を設けて実施する場合があります。(受験者の希望による時間や会場指定はお受けできません。) また、受験申請者数を定員制とし、受付期間であっても願書受付を締め切らせていただく場合がありますので変更等がありましたらホームページ等でお知らせいたします。
 なお、青森県支部が指定する時間及び会場を間違えた場合は、受験できませんので、受験票が届きましたら、必ず「試験日時」及び「試験会場」欄を確認の上、試験会場へお越しくください。

危険物取扱者免状の種類及び資格を活かせる主な業種

危険物取扱者とは

消防法で定められている数量以上の危険物を貯蔵し、又は取り扱う工場、ガソリンスタンド等の施設では、必ず危険物取扱者を置かなければなりません。

危険物取扱者免状は、取り扱える危険物の種類に応じて、甲・乙・丙の3種類に分類されます。

乙種は第1類～第6類に分類されており、類によって取り扱える危険物が異なります。

甲種危険物取扱者免状・・・全類の危険物の取扱い及びその立ち会い・定期点検・保安の監督

全ての種類の危険物について高度な知識を有する者として、危険物の取扱いが必要なあらゆる場面において、安全確保の中心的な立場として活躍することが期待されます。また、その関連業種は多岐にわたります。

乙種危険物取扱者免状・・・免状に指定する種類の危険物の取扱い及びその立ち会い・定期点検・保安の監督

種別	危険物の例	危険物を用いる主な製品	主な業種
第1類 (酸化性固体)	塩素酸ナトリウム	除草剤、殺虫剤、肥料、染料・染色、花火 金属表面処理剤、着色剤、パルプ漂白剤	ソーダ工業、塗料工業、金属工業、 医薬品工業、紙・パルプ工業
	硝酸アンモニウム	火薬原料、殺虫剤、冷却剤、肥料	アンモニア工業、医薬品工業、 肥料工業
	過マンガン酸カリウム	繊維・樹脂等の漂白、金属着色	合成高分子化学工業、金属工業
第2類 (可燃性固体)	硫黄	火薬、ゴム加硫剤、漂白・殺菌剤、 農薬、染料、蛍光体原料	石油精製工業、医薬品工業、 合成高分子化学工業、紙・パルプ工業
	赤りん	軽金属の脱酸、医薬品・農薬等の原料・製造	金属工業・医薬品工業
	マグネシウム	アルミニウム合金添加用、鉄鋼の脱硫剤	金属工業、硫酸工業
第3類 (自然発火性物質・ 禁水性物質)	ナトリウム、リチウム	金属還元剤、電池、合金、染料	ソーダ工業、金属工業、色素材料工業
	炭化カルシウム	金属酸化物の還元、石灰窒素製造	アンモニア工業、金属工業
第4類 (引火性液体)	ガソリン、灯油、 軽油、重油	自動車燃料、非常用発電機燃料 暖房用燃料、航空燃料	石油化学工業、自動車修理業 燃料小売業（ガソリンスタンド等）
	ナフサ、トルエン ギヤオイル、オリーブ油	肥料原料、潤滑油、溶剤 塗料、医薬品、調理用品	石油化学工業、合成高分子化学工業 色素材料工業、食品化学工業、塗装業
	ニトログリセリン ピクリン酸	ダイナマイト、火薬、血管拡張剤 染料、農薬、医薬品	医薬品工業、エネルギー工業 色素材料工業
第5類 (自己反応性物質)	ヒドロキシルアミン	農薬、医薬品、半導体洗浄剤、 染色、酸化防止剤	医薬品工業、有機化学工業
第6類 (酸化性液体)	過塩素酸	金属・合金・鉱石などの溶解、 有機合成用触媒	ソーダ工業、金属工業
	過酸化水素	漂白剤、紙・パルプ漂白剤、 医薬品	食品化学工業、紙・パルプ工業、 医薬品工業
	硝酸	火薬・爆薬、染料、香料、冶金、 電気メッキ、写真製版、医薬品、 肥料、有機合成	化学肥料工業、食品化学工業、 写真工業、医薬品工業、 アンモニア工業、金属工業

丙種危険物取扱者免状・・・省令で指定した第4類の危険物の取扱い・定期点検

危険物の例	危険物を用いる主な製品	主な業種
ガソリン、灯油、軽油など総務省令で指定した第4類の危険物（引火性液体）	自動車燃料、ボイラー燃料、潤滑油	燃料小売業（ガソリンスタンド等）

他にもこのような業種・事業所で役立ちます。

自動車製造業、機械工業、化粧品業、農業（農薬・肥料）、福祉医療関係施設、研究機関、教育機関、ビル管理業務、防火管理業務、警備業務、デパート、スーパーマーケット、大型量販店、ホテル・旅館、消防、警察、自衛隊、油槽所、トラックターミナル、駐車場、倉庫業、運送業、内装業、クリーニング業、鉄道等

試験種類及び試験科目

マークシートを使う筆記試験です。甲種、乙種は5肢択一式、丙種は4肢択一式で行います。

試験種類	試験科目（ ）内は略称	問題数	合計	試験時間
甲種	① 危険物に関する法令（法令）	15問	45問	2時間 30分
	② 物理学及び化学（物化）	10問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	20問		
乙種	① 危険物に関する法令（法令）	15問	35問	2時間
	② 基礎的な物理学及び基礎的な化学（物化）	10問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	10問		
丙種	① 危険物に関する法令（法令）	10問	25問	1時間 15分
	② 燃焼及び消火に関する基礎知識（燃消）	5問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	10問		

※甲種試験には試験科目の科目免除はありません。

乙種試験及び丙種試験には試験科目の科目免除があります。詳細は5ページをご確認ください。

合格基準

甲種、乙種及び丙種試験とも、試験科目ごとの成績が、それぞれ60%以上であること。

なお、乙種及び丙種試験の科目免除を受けた方は、免除された以外の問題で上記の成績であること。

受験資格

①甲種

甲種を受験する方は受験資格が必要です。また、その受験資格を証明する書類等の提出が必要になります。

詳細については、4ページをご確認ください。

また、過去に甲種危険物取扱者試験の受験申請をしたことがある方は、その時の「受験票(控)」又は「試験結果通知書」(資格判定コード欄に番号が印字されているものに限る。)を提出することにより、受験資格の証明書に代えることができます(コピーでも可)。

②乙種・丙種・・・受験資格はありません。どなたでも受験できます。

甲種試験

受験資格を証明するための書類は、下表の「証明書類」欄を参照し、提出してください。

■はコピー
その他は原本

	対象者	大学等及び資格詳細	願書資格欄 記入略称	証明書類
[1]	大学等において化学に関する学科等を卒業した方（専門職大学の前期課程を修了した方） （P.12の別表1参照）	① 大学、短期大学、高等専門学校、専修学校（備考②） ② 大学・短期大学・高等専門学校・高等学校の専攻科 ③ 高等学校・中等教育学校の専攻科 〔[1]、③で示す専攻科は、上記学校を卒業後に当該学校等で履修する修業年限2年以上のものをいう。〕 ④ 防衛大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等 ⑤ 専門職大学の前期課程を修了	大学等卒	卒業証明書又は卒業証書・学位記（学科等の名称が明記されているもの）
[2]	大学等において化学に関する授業科目を15単位以上修得した方 （P.13～P.14の別表2参照）	① 大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、大学院、専門職大学院、専修学校（備考②） ② 高等専門学校の専門科目 ③ 大学・短期大学・高等専門学校の専攻科 ④ 防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大学校、気象大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等	15単位	単位修得証明書（P.14の書式例2参照）又は成績証明書（修得単位が明記されたもの）
[3]	乙種危険物取扱者免状を取得している方	乙種危険物取扱者免状の交付を受けた後、危険物製造所等における危険物取扱いの実務経験が2年以上の方	実務2年	乙種危険物取扱者免状及び実務経験証明書
		次の4種類以上の乙種危険物取扱者免状を取得している方 ① 第3類（必須） ② 第5類（必須） ③ 第1類又は第6類のうちどちらか一つ ④ 第2類又は第4類のうちどちらか一つ	4種類	乙種危険物取扱免状
[4]	修士・博士の学位を取得している方 （P.12の別表1参照）	修士・博士の学位を授与された方で、化学に関する事項を専攻した方（外国の同学位含む。）	学位	学位授与証明書、※学位記、修了証書又は修了証明書（学位を取得していること、かつ、化学に関する事項を専攻したことがわかるもの）

【備考】

- ① 受験願書 A 面の「甲種受験資格」欄に上表の「願書資格欄記入略称」を記入してください。
- ② 上記[1]と[2]の専修学校については、修業年限2年以上、総授業時数1,700時間以上の専門課程に限り認められ、証明書類として表の書類のほか、次のいずれかの書面が必要です。ただし、証明書類に次の内容が記載されている場合は不要です。
 - ・ 専門士又は高度専門士の称号が付与されていることを証明する書面又はその写し
 - ・ 専門課程の修業年限が2年以上、かつ、課程の修了に要する総授業時数が1,700時間以上であることを証明する書面（P.14の書式例1参照）
- ③ [2]の大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、高等専門学校、大学院、専門職大学院等における修得単位は、卒業、在学中、中途退学又は通信教育等にかかわらず合算して算定することができます。また、放送大学も同様に算定できます（P.14の書式例2参照）。
- ④ [3]の「実務経験証明書」は、事業主等の証明です。受験願書 B 面（裏）の様式を使用してください。
- ⑤ 旧大学、旧専門学校、高等師範学校、実業学校教員養成所等の卒業生及び単位修得者、専門学校卒業程度検定試験合格者も受験資格がある場合があります。詳細はお問い合わせください。

注意事項について

卒業証明書や単位修得証明書（成績証明書）については、願書受付期間前であっても青森県支部まで一度ご連絡の上、証明書等の写しを送付していただければ、受験資格を満たしているか事前に審査いたします。指定学科に該当しない等、受験資格を満たしていない事例が増えていますので、ご自身で判断がつかない場合、お気軽にお問い合わせください。

また、指定学科に該当しない場合には、必要単位数を修得しているかの審査に移りますので、卒業証明書を取得される方は、あらかじめ願書受付前に単位取得証明書（成績証明書）も合わせて取得することをお勧めいたします。

乙種試験

乙種試験の科目免除を希望する方は、免除資格であることを証明する書類(免状のコピー)が必要です。

免除資格者	試験種類	試験科目(略称)	免除内容	問題数	試験時間
乙種危険物取扱者免状 をお持ちの方	第1類 ↳ 第6類	① 法令	全部免除	0問	35分
		② 物化	全部免除	0問	
		③ 性消		10問	
火薬類免状(注)をお持ちの方	第1類 第5類	① 法令		15問	1時間 30分
		② 物化	一部免除	4問	
		③ 性消	一部免除	5問	
乙種危険物取扱者免状及び 火薬類免状(注)をお持ちの方	第1類 第5類	① 法令	全部免除	0問	35分
		② 物化	全部免除	0問	
		③ 性消	一部免除	5問	

(注) 火薬類免状は、次の免状を意味します。

- ・甲種、乙種及び丙種の火薬類製造保安責任者免状(火薬類取締法第31条第1項)
- ・甲種及び乙種の火薬類取扱保安責任者免状(火薬類取締法第31条第2項)

※同じ試験日での乙種複数受験について

すでに乙種危険物取扱者免状をお持ちの方に限り、乙種試験を1日3種類まで同時に受験できます。
ただし、第4類を除く第1類・2類・3類・5類・6類のみ複数受験ができます。

【試験時間】乙種を2種類受験の場合…1種類35分(科目免除有り)×2種類=1時間10分

乙種を3種類受験の場合…1種類35分(科目免除有り)×3種類=1時間45分

乙種複数受験希望者は、書面申請にて試験種類ごとに受験願書を作成してください。(電子申請不可)

丙種試験

科目免除を希望する方は、次の2つの証明書類が必要です。

- ① 5年以上消防団員として勤務したことを証明する書類(消防団長又は市町村長が証明するもの)
- ② 消防学校の基礎教育又は専科教育の警防科を修了したことを証明する書類(消防学校長が証明するもの)

免除資格者	試験科目(略称)	免除内容	問題数	試験時間
5年以上消防団員として勤務し、かつ、 消防組織法第51条第4項の消防学校の教育 訓練のうち基礎教育又は専科教育の警防科を 修了した方	① 法令		10問	1時間
	② 燃消	全部免除	0問	
	③ 性消		10問	

受験の申込み：書面申請と電子申請の2通りの方法があります。

1 書面申請(郵送又は持参による申請)

(1)申請に必要な書類

- ①受験願書・・・8ページ「記入例」を参考に、受験者本人が黒色のボールペンで記入してください。
乙種を複数受験する場合は、受験する種類ごとに1枚ずつ願書を作成し、必ず1つの封筒にまとめて提出してください。また、同一受付期間内の別日にも受験する場合は、試験日ごとに願書を作成して1つの封筒にまとめて提出してください。
- ②振替払込受付証明書(お客さま用)受験願書添付用・・・願書B面に貼ってください。
- ③その他添付書類・・・願書B面の裏に貼ってください。
 - ・危険物取扱者免状をお持ちの方・・・危険物取扱者免状のコピー(表・裏)
 - ・甲種を受験する方・・・受験資格を証明する書類(4ページ参照)
 - ・乙種、丙種の試験の科目免除を受ける方・・・免除資格を証明する書類(5ページ参照)

(2)願書提出先

◇青森県で受験を希望する方

提出場所	
〒030-0861 青森県青森市長島2-1-5 みどりやビル4階 一般財団法人 消防試験研究センター青森県支部	
持参による提出	郵送による提出
9時00分～17時00分 (土日祝日、年末年始を除く。)	郵便局窓口で郵送手続きをしてください。 封筒に受付最終日の消印があるものまで受け付けします。

注1) ポストに投函した場合、郵便局の集配時間の都合上「受付最終日の消印が押されていない」又は「郵便料金不足により差出人に返送」のため受付できないことがあります。

注2) 普通郵便の場合、不着によるトラブルが起きる可能性があるため、配達状況が確認できる「簡易書留郵便」か「特定記録郵便」をお勧めします。なお、不着によるトラブルについては、当センターでは一切責任を負いません。

◇青森県以外で受験を希望する方

受験願書及び当センター所定の払込用紙は全国共通です。受験願書等の書類は、受験を希望する道府県支部(東京都は中央試験センター)に提出してください。その他ご不明な点については、当センターホームページをご確認ください。

2 電子申請(インターネットによる申請)・・・受付開始日午前9時から受付最終日23時59分まで受け付けします。

(1)願書に証明書類の添付が不要な方は、1試験日1種類のみ電子申請できます。

- ・甲種・・・4種類以上の乙種免状(4ページ参照)による受験資格で受験する方
- ・乙種、丙種・・・証明書類が不要な方(火災類免状、消防団員で科目免除を受ける方は申請できません。)
- ・再受験・・・過去3年以内に受験した時と同じ種類・内容の試験を受験する方
(受験した時の受験票(控)又は試験結果通知書が必要です。)

(2)詳細については、(一財)消防試験研究センターホームページ(<https://www.shoubo-shiken.or.jp>)に利用方法やQ&Aが掲載されていますので、ご確認の上、お申込みください。

電子申請に関する問い合わせ先：(一財)消防試験研究センター 電子申請室
専用電話：0570-07-1000(有料) 受付時間：平日 午前9時～午後5時

3 書面及び電子申請の注意事項

- ・書面申請は受付締切日以降、電子申請は申請の受付完了以降は、申請内容(試験日、試験種類、受験地、科目免除)の変更及び申請の取消しはできません。
- ・青森県支部で受理された願書等の申請書類は返却できません。
なお、内容に不備のある願書等及び受付最終日を過ぎた後に提出された願書等は受理できませんので、この場合、提出された申請書類を返却いたします(返却費用は本人負担になります)。
- ・試験当日に車イスの使用、補聴器や拡大鏡の使用など特別措置を希望される場合は、願書受付期間内に当支部へご連絡ください。

試験手数料の払込み：払込みされた試験手数料はお返しできません。

1 試験手数料 (非課税)

甲 種	乙 種	丙 種
7,200円	5,300円	4,200円

※試験手数料が改定され、令和6年5月1日申請分から左記の金額となっております。

2 書面申請の場合・・・払込手数料がかかります。払込手数料の金額は郵便局又はゆうちょ銀行で確認してください。

- 必ず当センター所定の払込用紙を使って、郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で払い込んでください。複数受験の場合は、一括して合計金額を払込みすることも可能です。例：乙種を2種類受験→10,600円
- 払込後、「振替払込請求書兼受領証」と「振替払込受付証明書(お客様用)」の2枚を受け取り、受付日附印を確認の上、「振替払込受付証明書(お客様用)」を願書B面に貼って ください。(9 ページ参照)

【センター所定の払込用紙記入例】

試験手数料は、(一財)消防試験研究センターのホームページ又は各都道府県支部の窓口で確認してください。



消防試験研究センター 検索

郵便局 (ゆうちょ銀行) 窓口用用紙

- 手数料は、必ず郵便局 (ゆうちょ銀行) の窓口で払い込んでください。
- この用紙でATM (現金自動預払機) による払込みは、行わないでください。
- 金額の訂正は無効ですので、左記QRコード等でよく確認して記入してください。誤った金額を記入してしまった場合は、新しい払込用紙に記入しなおしてください。
- 受験願書 (B面) には、必ず日附印がある「振替払込受付証明書(お客様用)」を貼ってください。
- 本人控えである「振替払込請求書兼受領証」は、ご本人が大切に保管してください。

※ 試験手数料については、非課税です。

↓

郵便局・ゆうちょ銀行で回収されます

00	東京	払込取扱票	
0	0	1	7
0	0	1	3
1	3	6	2
2	2	0	0
金額		¥5300	

加入者名 一般財団法人 消防試験研究センター
住所 青森市長島2-1-5
青森みどりや201号
氏名 消防太郎
(電話 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇)

日附印 青森中央 6.4.1

本人控え

0	0	1	7
0	0	1	3
1	3	6	2
2	2	0	0
金額		¥5300	

加入者名 一般財団法人 消防試験研究センター
住所 青森市長島2-1-5
青森みどりや201号
氏名 消防太郎 様
(電話 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇)

日附印 青森中央 6.4.1

受験願書に貼付する部分

0	0	1	7
0	0	1	3
1	3	6	2
2	2	0	0
金額		¥5300	

加入者名 一般財団法人 消防試験研究センター
住所 青森市長島2-1-5
青森みどりや201号
氏名 消防太郎
(電話 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇)

日附印 青森中央 6.4.1

払込金額を間違わずに記入してください。
※金額を訂正した場合は無効。

払込後、日附印が押されているか確認してください。

3 電子申請の場合

ペイジー決済、コンビニエンスストア決済及びクレジットカード決済の3種類の払込方法から選択できます。詳しくは、当センターホームページをご覧ください。

※試験手数料の注意事項について

- ①書面申請の場合、試験手数料の払込みだけでは、受験できません。受験願書の提出が必要です。
- ②「払込金額を書き間違えてしまったため、訂正した(訂正印を押す)」「センター所定の用紙を使用せずに払込みした」「郵便局の日附印がない証明を願書に貼った」、このような場合は受け付けできませんので、再度、正しい方法で払込みすることが必要となります。
- ③試験手数料の金額は払い込み前に必ず確認し、払込用紙に金額を記入してください。
- ④年度途中であっても、試験手数料が変更となることがありますので、当センターホームページで確認するか、青森県支部へお問い合わせください。
- ⑤試験手数料を払い込み後、都合により受験できない場合や、試験当日に欠席した場合でも払い込みされた試験手数料はお返しできません。
- ⑥「振替払込受付証明書(お客様用)」を紛失、汚損等により受験願書に貼付できない場合、当センターでは責任を負えませんので、くれぐれも紛失、汚損等しないようにしてください。紛失、汚損等した場合は、再度払込みの上、新たな「振替払込受付証明書(お客様用)」を受験願書に貼り付けてください。なお、再度払い込みした後で、紛失した「振替払込受付証明書(お客様用)」を発見し提出したときは、還付申請により先に払い込まれた試験手数料をお返しします。

危険物取扱者試験受験願書【記入例】

- ◎願書A面の《記入上の注意》をよく読んでから記入してください。
- 訂正する場合は、二重線を引いてその上に正しく記入してください。
- ◎2種類以上の受験者は、試験の種類ごとに願書を作成してください。

(A面)

左づめで記入してください。外国籍の受験者は、住民基本台帳に記載されている漢字又はパスポートに記載されているアルファベット氏名を記入してください。

濁点、半濁点は1マス使ってください。

受験票及び結果通知書が届く住所を記入してください。

P1を確認し記入してください。

甲種受験者はP4の「記入略称」により記入してください。

該当者は○をつけてください。

2種類以上の受験者はそれぞれの願書に他の種類を記入してください。

免状の有無について必ずどちらかに○をつけてください。

免状(有)の場合は必ず記入してください。

一般財団法人 消防試験研究センター理事長 殿		都道府県名	青森県	申請日	令和 00年 00月 00日
申請者氏名	シヨウホウ	消防	太郎	フリガナ・氏名は、氏と名に分けて、左づめで記入してください。	
生年月日	60年 07月 10日	本籍	青森	都道府県	本籍コード 02
郵便番号	030-0861	自宅電話番号又は携帯電話番号	017-722-1902		
住所	青森県青森市長島	2-1-5	コーポみどりや201号	勤務先名または学校名	青森石油(株)
				連絡先電話番号(携帯電話も可)	090-0000-xxxx

申請日を書いてください。

B面裏の「都道府県コード」を記入してください。

日中に連絡がとれる電話番号を記入してください。

試験日	令和 00年 00月 00日	メールアドレス(任意)	@
試験種類	甲種 - 第1類	他の都道府県での受験申請状況	都道府県コード 13 試験種類 甲種 第2類 試験日 0月00日
受験地	青森市	該当する職業等に1つだけ○を記入してください	① 高校生 ⑦ 危険物を扱うその他の事業 ② ①以外の学生、教育・研究機関 ⑧ 公務員 ③ ガソリンスタンド ⑨ 警備員 ④ 化学工業 ⑩ ビル管理業 ⑤ 危険物の卸売業、小売業 ⑪ その他 ⑥ 危険物の運送業
甲種受験資格	火薬類製造保安責任者免状又は火薬類取扱保安責任者免状による試験科目免除を <input type="checkbox"/> 受ける <input checked="" type="checkbox"/> 受けない		
科目免除	乙種危険物取扱者免状の交付を <input type="checkbox"/> 受けていない <input checked="" type="checkbox"/> 受けている		
	5年以上消防団員として勤務し、かつ、基礎教育又は専科教育の警防科を修了した者に <input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない		
同時に複数の試験を受ける者は、この願書以外に受ける種類を記入すること	甲種 乙種 丙種 第一 第二 3,6類		

主なもの1つに○をつけてください。

免状取得の有無について記入してください	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	免状番号	1024 1234 5678
取得している危険物取扱者免状は全部記入してください	元号コード(昭和・3平成・4令和・5)	免状交付年月日	交付番号
	甲		
	乙1		
	乙2		
	乙3		
	乙4		
	乙5	4 25年 10月 20日	02000
	乙6		
	丙	4 23年 07月 02日	03000

(記入上の注意)
 ● 免状番号は、免状写真下に記載されている番号です。
 ● 枠は該当するものに○を記入してください。
 ● 本用紙は、黒色のボールペンを使用し「かい書」で記入してください。
 ● 本用紙を汚したり、折り曲げたりしないでください。
 ● ※印は、記入しないでください。

※団体コード ※受付機関コード ※分類コード ※

書類等に不備があった場合の連絡手段として、メールによる連絡を希望する方はメールアドレス(携帯電話アドレス可)を記入してください。
 なお、迷惑メール対策等の設定をしている方は、青森県支部からのメールが届くよう、ドメイン指定受信等の設定(ドメイン名 shoubo-shiken.or.jp)を行ってください。

(B面)

試験願書

試験受験願書

申請日 年 月 日

本籍 都道府県

宅電話番号 携帯電話番号

勤務先名または学校名

連絡先電話番号 (携帯電話も可)

内線 ()

※1 宛地

※2 資格

※3 免除

※4 複数

※5 併願

※6 併願

ここに「振替払込受付証明書」を貼ってください。

振替払込受付証明書(お客さま用)
 (郵便局・ゆうちょ銀行にご依頼人)の
 印を捺印し、お申し込みの受付に
 添付してください。

切取されないよう窓口にお出しください。金額の訂正は無効です。

金額 5,300

加入者名 一般財団法人 消防試験研究センター
00170-3-136220

ご依頼人住所 青森市長島2-1-5
コーポみどりや201号
氏名 消防 太郎

電話 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
郵便局へゆうちょ印を押印

日附印

青森中央 日附印

日附印なき証明書は無効
(払込人の消防試験研究センター
承認書に添付してください)

※受付欄

甲種は¥7,200
乙種は¥5,300
丙種は¥4,200
(7ページ参照)

郵便局の日附印がないもの、金額の記入がないものは受付できません。
金額の訂正は無効ですので、新しい払込用紙をお使いください。

(B面裏)

各種証明書等貼
この部分にのりづけして貼付し

都道府県等コード表

北海道01	福島07	東京13	山梨19	滋賀25	鳥取3
青森02	茨城08	神奈川14	長野20	京都26	島根1
岩手03	栃木09	新潟15	岐阜21	大阪27	岡山3
宮城04	群馬10	富山16	静岡22	兵庫28	広島2
秋田05	埼玉11	石川17	愛知23	奈良29	山口3
山形06	千葉12	福井18	三重24	和歌山30	徳島3

「実務2年」の受験資格で甲種を受験する方が必要です。

乙種危険物取扱実務経験証明書

氏名 〇〇〇〇 〇〇年〇月〇日生

取り扱った危険物 第4類 品名がリン、灯油、軽油

取り扱った期間 〇〇年〇月〇日から 〇〇年〇月〇日まで
(〇年 〇月)

製造所等の区分 製造所 貯蔵所 取扱所

上記のとおり相違ないことを証明します。
証明年月日 年 〇月 〇日

事業所名 〇〇〇〇株式会社

証明者 役職 代表取締役
氏名 〇〇〇〇
電話 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

甲種各種あり、第2号

該当するものに○をつけてください。

事業所(会社等)の印

証明者の私印

両方必要です。

既得危険物取扱者免状(コピー)貼付欄

危険物取扱者講習の状況

終了年月日	講習実施機関	証印
〇〇〇〇	青森県	[青森県印]

(備考)

危険物取扱者免状

種類等	交付年月日	交付番号
甲種		
乙種1類		
乙種2類		
乙種3類		
乙種4類		
乙種5類	〇〇〇〇	〇〇〇〇
乙種6類		
丙種	〇〇〇〇	〇〇〇〇

危険物取扱者免状をお持ちの方は受験資格・科目免除に関係なくコピー(表・裏)を貼ってください。
※氏名、本籍に変更がある方は速やかに書換えてください。

こちらを願書に貼ってください。

(所定の払込用紙)

注意

- 試験手数料の払込みだけでは、受験の申込みにはなりません。
- 払込む試験手数料の金額は、必ず記入してください。

払込取扱票

00 東京

金額 ¥5,300

一般財団法人 消防試験研究センター

住所 青森市長島2-1-5
コーポみどりや201号

氏名 消防 太郎

電話 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

郵便局(ゆうちょ銀行)の窓口で払い込み、「振替払込受付証明書(お客さま用)」に日附印の押印をうけてください。

振替払込請求書兼受領証

金額 ¥5,300

消防 太郎 様

青森中央 日附印

振替払込受付証明書(お客さま用)
 (郵便局・ゆうちょ銀行にご依頼人)の
 印を捺印し、お申し込みの受付に
 添付してください。

切取されないよう窓口にお出しください。金額の訂正は無効です。

貼ってください

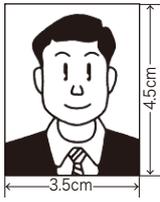
日附印なき証明書は無効
(払込人の消防試験研究センター
承認書に添付してください)

受験票及び写真：受験票は必ず内容を確認し、写真を貼って試験当日持参してください。

受験票の送付	書面申請	郵便はがき(圧着式はがき)で、試験日の10日前までに郵送します。受験票が届かない場合や、紛失した場合は、試験日前の平日9:00~17:00までに青森県支部へ連絡してください。
	電子申請	試験日の約10日前までに申請時に入力されたメールアドレスに「受験票印刷可能メール」を送信します。申請者本人がダウンロードして受験票をA4用紙に印刷してください。メールが届かない場合は電子申請室へお問い合わせください。

- 注)・氏名・住所等に誤り又は変更がある場合
試験当日に試験監督員が修正用紙を渡しますので、正しい内容を記入し提出してください。
- ・試験の種類・免除科目に誤りがある場合
試験日前の平日9:00~17:00までに青森県支部へ連絡してください。
なお、申請者が記載・入力を誤っていた場合のものや、試験当日の申し出には応じられません。

危険物取扱者試験 受験票



受験番号	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名		
氏名		
試験日時	年月日 〇〇時〇〇分集合 〇〇時〇〇分試験開始	
試験会場(試験室)		
免除科目	資格判定コード	
既得免状		

写真について

- ・試験日前の6か月以内に撮影した縦4.5cm×横3.5cmの大きさとで枠なしの鮮明な写真を貼ってください。
- ・正面・無帽(宗教上又は医療上の理由がある場合を除く。)・無背景・上三分身像で髪が目にかからず、サングラスはかけないで撮影してください。
- ・デジタル写真は写真専用用紙に印刷(プリント)したものに限り、写真に貼らず、のり付けしてください。
- ・写真は本人確認及び合格後の免状作成の際に使用します。

複数受験者の方は「座席番号」が印字されます。

氏名を記入してください。

試験当日は受験票に記載されている試験室を確認し、指定された試験室へ入室してください。

※受験票(控)は、合格発表の確認に必要です。また、甲種を再受験される方は、資格の証明に代えることもできますので、大切に保管してください。

試験当日の持ち物及び注意事項

- 試験当日の持ち物… ①顔写真を貼った受験票 ②HB又はBの鉛筆又はシャープペンシル ③消しゴム
④腕時計(時間確認用) ⑤上履き及び外履き入れ(会場が高等学校の場合)
⑥顔写真付き身分証明書(必要に応じて係員から運転免許証等の提示をお願いする場合があります。)

注意事項

- ・試験会場への電話の問い合わせはしないでください。
- ・本人確認のできる鮮明な写真を貼付した受験票を持参しないと受験できません。
- ・試験中は、HB又はBの鉛筆、シャープペンシル、消しゴム以外は使用できません。
なお、時間確認のための腕時計の使用は認めます。(会場によっては掛時計がありません。)
- ・携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器類は必ず電源を切り、カバン等にしまってください。(これらの電子機器類を時計として使用することはできません。)
- ・試験会場が高等学校の場合は、土足禁止のため、必ず上履き(スリッパ等)と外履き入れをご持参ください。
スリッパ等の貸し出しは行っていません。
- ・高等学校の敷地内は禁煙です。その他の会場では、喫煙所をご利用ください。
- ・試験会場周辺での特定業者によるチラシ等の配布、試験結果通知の有料サービスは、当センターとは関係ありません。
- ※迷惑・無断駐車等について
 - ・試験会場周辺のコンビニ・店舗等への無断駐車について、苦情が寄せられています。無断駐車については、**試験実施中であっても車を移動していただきます。この場合は、再入場できません。**
また、営業妨害により警察に通報されたり、違法駐車によりレッカー移動されたり等、事故や駐車に関するトラブル等について、当センターは一切責任を負いませんので、**絶対に違法・迷惑・無断駐車はしないでください。**
 - ・駐車場「有」となっている試験会場は、全て台数制限があります。大変混み合いますので、公共交通機関をご利用ください。
なお、駐車場は受験者用に確保している駐車場ではありませんので、満車の場合は、各自の責任において他の有料駐車場を確保してください。※駐車に関する問い合わせは試験当日応じられません。
駐車場が確保できず、試験時間に間に合わなかった場合でも、当センターでは一切責任を負いません。
また、有料駐車場を使用する場合は、駐車料金は全て自己負担となります。※駐車券の割引券等の発行はされません。

試験結果通知及び合格後の手続き

1 試験結果通知

合格発表日には、合格者の受験番号を青森県支部事務室前に掲示するほか、当日正午から当センターホームページ (<https://www.shoubo-shiken.or.jp>) にも掲示します。

また、受験者全員に、試験結果通知書(圧着ハガキ)を郵送します。(欠席した場合は届きません。)

なお、試験結果、試験問題及びその解答に関する問い合わせには、一切応じられません。

2 合格後の手続き

試験に合格した方は、次の(1)～(4)をご用意のうえ、郵送又は持参により免状交付申請をしてください。

なお、試験日から6か月以上経過後に申請する場合は、最新の顔写真を1枚添付してください。

(1) 免状交付申請書及び試験結果通知書(この2つは切り離さないでください。)

印字された内容(住所、氏名、生年月日等)に誤りがある場合は、余白に赤字で正しい内容を記入してください。

また、すでに免状をお持ちの方で氏名・本籍・生年月日の変更や免状に旧姓記載を希望の場合は、新規交付申請と同時に申請ができます。

※戸籍抄本又は、本籍、旧姓が記載された住民票等が必要です。

(2) 免状交付手数料

免状交付には免状交付申請書1枚につき **2,900円分の青森県収入証紙**がかかります。証紙は免状交付申請書の裏面に貼ってください。

※注意事項

① 交付申請書を同時に複数枚申請することもできますが、その場合は交付手数料を合算せずに、それぞれの交付申請書に2,900円分の青森県収入証紙を貼ってください。

② 交付手数料2,900円分以外の金額の青森県収入証紙を貼らないでください。

③ 青森県収入証紙は、青森県支部では取り扱っていません。販売先については支部へお問い合わせいただくか、青森県庁ホームページで県内の「証紙売りさばき人一覧」をご覧ください。

(3) 新規免状送付用封筒(下図参照)

新たに交付された免状を郵送希望の方は、定形封筒の表面に日中確実に郵便物を受け取れる住所・氏名を記入し、簡易書留郵便料(※)の切手を貼ってください。

※2024年4月1日現在434円(25グラム以内)。2024年秋頃より郵便料変更予定。(郵便局又は当支部へ料金をお問い合わせください。)

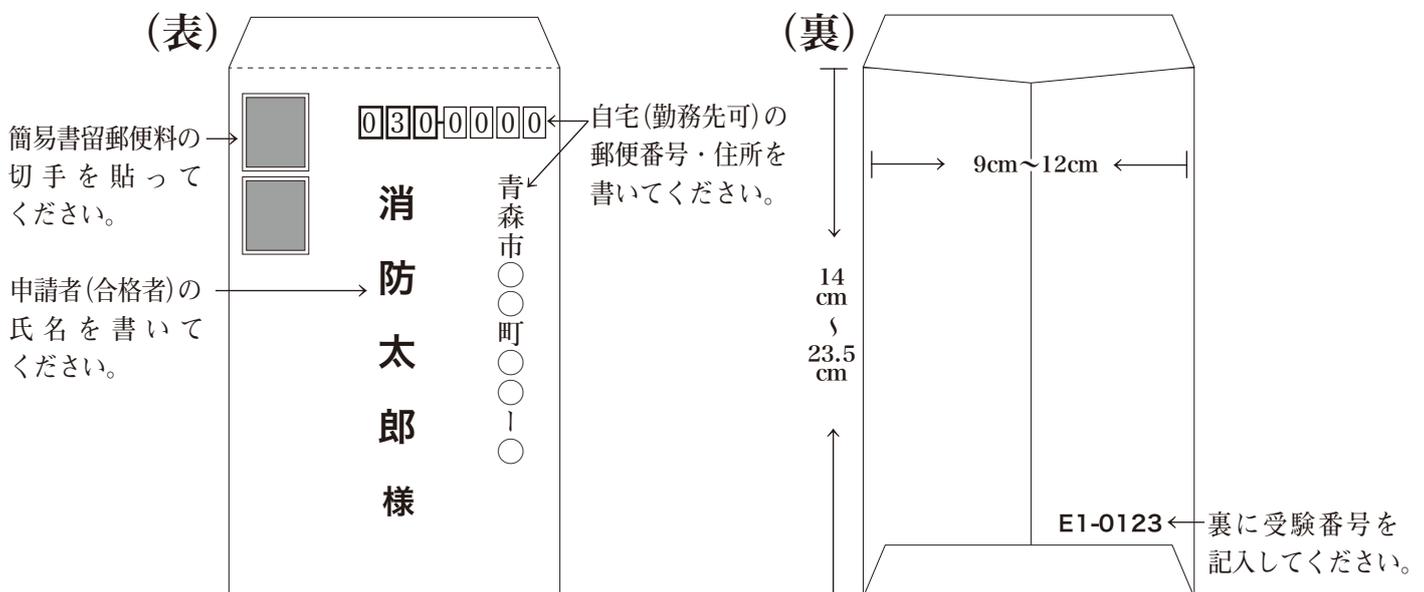
裏面には受験番号を記入してください。なお、同じ方が複数枚申請する場合、封筒は1枚で結構です。

※会社等で一括で免状返送希望される場合は、枚数による重さで郵便料が変わりますので、支部へお問い合わせください。

(4) 既得危険物取扱者免状

すでに危険物取扱者免状をお持ちの方は、必ず免状交付申請書と一緒に提出してください。

※免状送付用封筒の作成例 (「運転免許証」サイズが入る程度の大きさの定形封筒)



別表 1

化学に関する学科等の例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる学科又は課程は認められます。
(ただし、明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 人類文化学科等)
- 2 学科の名称にかえて「部門」又は「専攻」等の名称を用いるものは、学科又は課程とみなします。
- 3 次の表に示す学科又は課程等

あ	安全工学科	さ	材料開発工学科	そ	総合薬学科
い	医療薬学科		材料科学科		総合薬品科学科
え	衛生薬学科		材料科学工学科		素材工学科
お	応用原子核工学科	し	材料加工工学科	と	塗装科
	応用生物科学科		材料科学科	は	醗酵(発酵)工学科
	応用生物工学科		材料機能工学科		醗酵(発酵)生産学科
	応用生命科学科		材料工学科	ふ	物質科学科
	応用生命工学科		材料物性科学科		物質科学工学科
応用微生物工学科	材料物性工学科	物質工学科			
か	環境生命科学科	せ	材料プロセス工学科	物質生物科学科	
	環境物質工学科		色染工芸学科	物質生物工学科	
	環境マテリアル学科		資源工学科	物質生命工学科	
き	基礎理学科	資源素材工学科	ま	物質生命システム工学科	
	機能高分子科学科	システム量子工学科		物質分子科学科	
	機能高分子工学科	食品科学科		物質分子学科	
	機能材料工学科	食品学科		物質理工学科	
	機能物質科学科	食品工学科		プロセス工学科	
	機能分子工学科	食品工業科学科		分子工学科	
	金属加工工学科	食料科学科		分子システム工学科	
	金属学科	森林資源科学科		分子生物学科	
	金属工学科	む		分子生命科学科	
	金属材料科学科			分子素材工学科	
金属材料工学科	マテリアル科学科				
け	原子工学科	製剤学科	マテリアル工学科		
	原子力科	製糸学科	む	無機材料工学科	
	原子力工学科	製造薬学科		や	冶金学科
	原子炉工学科	生体機能応用工学科	冶金工学科		
こ	工業材料科	生体物質工学科	薬科学科		
	厚生薬学科	生体分子工学科	薬学科		
	高分子科学科	生物応用工学科	薬剤学科		
	高分子工学科	生物機能工学科	薬品科学科		
	高分子材料工学科	生物工学科	ゆ	有機材料工学科	
	生物資源科学科	よ		窯業工学科	
	生物資源利用学科			り	林産学科
	生物生産科学科	生物分子科学科	林産工学科		
	生物分子科学科	生物薬学科			
	精密素材工学科	精密物質科学科			
	精密物質科学科	生命理学科			
	製薬科学科	製薬科学科			
	繊維工学科	繊維工学科			
	繊維高分子工学科	繊維高分子工学科			

別表 2

化学の授業科目例

1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる授業科目

(ただし、明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例)進化学等)

2 次の表に示す授業科目

あ	アモルファス物性工学	け	計算溶液特論	さ	細胞培養学	せ	製剤学	た	耐火物概論
	安全管理学		結晶回折				材料解析		製剤工学
い	安全工学	け	結晶材料工学	さ	材料開発工学	せ	製紙科学	た	多結晶材料工学
	安全防災工学		結晶評価工学				材料科学		製紙学
え	移動現象論	け	原子エネルギー工学	さ	材料加工学	せ	製紙工学	た	単位反応学
	移動速度論		原子核工学				材料強度学		製造薬学
お	医薬品安全性学	け	原子炉工学	さ	材料強度物性学	せ	生体機能工学	ち	超高温材料
	医薬分子設計学		原子炉材料学				材料結晶学		生体機能電気科学
か	医用高分子機能学	け	原子炉燃料	さ	材料工学	せ	生体機能利用学	て	鉄鋼材料学
	衛生工学		高温材料				材料構造解析学		生体工学
き	衛生薬学	こ	高温反応工学	し	材料精製工学	せ	生体高分子学	と	鉄冶金
	栄養学		光学活性体合成論				材料精密工学		生体触媒学
か	エレクトロセラミックス	こ	高機能材料特論	し	材料組織学	せ	生体光反応学	と	定量分析
	エレクトロニクス材料工学		高機能材料プロセス特論				材料組織形成論		生体分子工学
か	応化・プロセス工学	こ	工業火薬学	し	材料熱力学	せ	生体分子反応	と	電解反応
	回折結晶学		工業材料				材料反応学		製鉄製鋼耐火物
か	界面工学	こ	工業排水処理	し	材料物性学	せ	生物機能開発学	と	電気電子材料科学
	界面制御学		工業爆薬学				材料物理学		生物機能工学
か	界面電子工学	こ	工業反応速度論	し	材料プロセス設計	せ	生物機能利用学	と	電極反応論
	界面物性		工業微生物学				材料プロセス設計		生物工学
か	科学史	こ	工業分析	し	錯塩基及び酸化還元	せ	生物資源科学	と	電子物性
	核燃料工学		格子欠陥				産廃処理		生物資源利用学
か	核燃料サイクル特論	こ	公衆衛生学	し	色彩工学	せ	生物反応工学	と	同位体地球科学
	核融合概論		高重合反応				色染実験		生物物性学
か	核融合工学概論	こ	合成鉱物	し	システム安全工学	せ	生物分子科学	と	特殊機能セラミックス
	化工熱工学		合成鉱物				焼結固体反応論		生物薬学
か	化工熱力学	こ	厚生薬学	し	焼成材料	せ	精密材料物性	と	毒物学
	化工物理学		合成薬品製造学				醸造学		精密素材工学
か	化工流体力学	こ	構造用金属材料	し	醸造工学	せ	精密分離工学	と	塗装学
	化石エネルギー		酵素利用学				醸造工業概論		精密有機合成特論
か	火薬学	こ	鋼中非金属介在物	し	状態方程式特論	せ	製薬学	と	
	ガラス工学		鉱物学				触媒工学		生理活性物質学
か	ガラス材料	こ	高分子科学	し	触媒設計	せ	精錬漂白論	と	
	ガラス状態論		高分子学				触媒反応工学		石油開発工学
か	ガラス物性	こ	高分子工学	し	食品衛生学	せ	石油生産工学	と	
	環境汚染物質分析学		高分子合成				食品栄養学		接合学
か	環境物質工学	こ	高分子構造	し	食品科学	せ	接着及び接着剤	と	
	感光物性論		高分子固体構造論				食品工学		接着学
か	岩石学	こ	高分子固体構造論	し	食品工業微生物学	せ	セメント工学	と	
	官能基変換論		高分子コロイド科学				食品分析学		セラミック工学
か	機器分析	こ	高分子材料学	し	食品分析学	せ	セラミック科学	と	
	機能高分子学		高分子反応				植物分子生物学		セラミック基盤材料
か	機能性高分子材料学	こ	高分子物性論	し	人工結晶	せ	セラミック工学	と	
	機能性材料工学		固相変態論				人造繊維工学		セラミック材料学
か	機能性触媒工学	こ	固体反応	し	新薬論	せ	セラミックス材料学	と	
	機能性有機材料		固体表面科学				水質学		セラミックス概論
か	機能セラミック論	こ	固体物性論	し	新薬論	せ	セラミックス材料工学	と	
	凝固論及び結晶生成		固体物性論						セラミックス電子材料
か	金属学	こ	固体平衡論	し	新薬論	せ	セラミックプロセス	と	
	金属加工学		コロイド学						セルロース科学
か	金属工学	こ		し	新薬論	せ	繊維高分子工学	と	
	金属材料学								選鉱学
か	金属材料工学	こ		し	新薬論	せ	先端材料物性特論	と	
	金属製錬学								
か	金属組織学	こ		し	新薬論	せ		と	
	金属の相変態								
か	金属表面処理	こ		し	新薬論	せ		と	
	金属物性								
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か		こ		し	新薬論	せ		と	
か	</								

に ね	ニューセラミック特論	ひ	非金属材料 非晶質科学 微生物遺伝学 微生物学 微生物機能学 微生物工学 非鉄材料科学 非平衡論 表面・界面工学 表面工学 表面分析 肥料学	ふ	プロセス工学 プロセスシステム工学 プロセス制御工学 プロセスダイナミクス プロセス熱力学 分光分析 分散系物性学 分子遺伝学 分子解析学 分子機能 分子機能設計学 分子構造論 分子シミュレーション特論 分子情報計測学 分子生物科学 分子生物学 分子設計論 分子素材工学 分子熱力学 分子微生物学 分子薬理学 粉体工学 分離科学 分離工学 分離システム工学 分離装置工学 粉粒体工学	ま	膜機能工学 マテリアル工学	ゆ	有機機器分析 有機機能性材料 有機金属 有機構造解析 有機材料工学 有機材料工業論 有機材料設計 有機材料表面科学 有機材料物性 有機材料レオロジー 有機電解合成論 有機反応機構 有機分析学 有機薬品製造学 融体物有機材料電子物性
	燃烧学 燃烧工学 燃烧熱工学 燃烧物理科学 粘土工学 燃料工学 燃料工業 燃料燃焼潤滑論 燃料燃焼論 燃料分析学		ファインケミカル工業分析 複合材料機能学 腐食及び防食学 物質移動プロセス特論 物質科学 物質工学 物質構造解析論 物質構造論 物質生科学 物質生物工学概論 物質プロセス工学 物質分析法 物性科学 物性予測論 物性論 物体学 物理薬学 プラントエンジニアリング		平衡論 平衡・反応論		水処理工学 水処理実験 水の分子工学特論		無機材質学 無機材料工学 無機電子制御反応 無機薬品製造学
の は	農業学 バイオテクノロジー バイオプロセス工学 培養工学 爆発工学 薄膜材料工学 醗酵(発酵)学 醗酵(発酵)工学 醗酵(発酵)工業論 醗酵(発酵)生産学 パルプ学 パルプ工学 半導体工学 半導体材料 半導体デバイス工学 反応工学 反応性物質材料 反応操作 反応速度論	ふ	ファインケミカル工業分析 複合材料機能学 腐食及び防食学 物質移動プロセス特論 物質科学 物質工学 物質構造解析論 物質構造論 物質生科学 物質生物工学概論 物質プロセス工学 物質分析法 物性科学 物性予測論 物性論 物体学 物理薬学 プラントエンジニアリング	平衡論 平衡・反応論	放射線計測学 放射線物性計測学	や 冶金学 冶金工学 冶金反応工学 薬科学 薬学 薬剤学 薬品学 薬品工業概論 薬品製造学 薬品製造工学 薬品分析学 薬物学 薬用植物学 薬理学 薬効学	よ 窯業工学 窯炉工学	り 粒子線結晶学 量子分子光学 量子力学 林産学 林産工学 林産製造学 林産物製造学 臨床薬学 臨床薬理学	れ レオロジー

書式例 1 専修学校用受験資格証明書

甲種危険物取扱者試験受験資格証明書(専修学校用)

年 月 日 入学 科 コース
 年 月 日 修了

氏名
 年 月 日生

学校教育法第124条に定める専修学校として許可を受けた日及び文書番号 年 月 日 号	
課程の名称	〇〇〇〇専門課程
修業年限	2年
課程の修了に必要な総授業時数	1700時間

上記のとおり証明する。
 年 月 日
 専門学校 学校長 氏名 印

《注》証明書の書式は、例の内容が記載
 されていれば自由です。

書式例 2 単位修得証明書

単位修得証明書

年 月 日 入学 部 科
 年 月 日 修了

氏名
 年 月 日生

化学に関する 科目名	修得単位	化学に関する 科目名	修得単位
有機化学	4	高分子化学	2
無機化学	4	分析化学	2
燃焼化学	3	反応速度論	2

上記のとおり証明する。
 年 月 日
 大学 学長 氏名 印

《注》証明書の書式は、例の内容が記載
 されていれば自由です。

《注》学長等が「化学に関する分野」と
 認めた授業科目は、原則として、
 そのまま単位として認めます。

個人情報の取り扱いについて

一般財団法人消防試験研究センター(以下「当センター」という。)は、危険物取扱者試験及び消防設備士試験の実施と免状作成業務を行っています。

当センターは、試験及び免状事業の実施機関として個人情報を取り扱っていますので、個人情報の重要性を十分認識し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及びその他の関連する規範を遵守し、取得した個人情報は、正確、かつ、安全に取り扱います。

1 当センターの個人情報の内容と利用目的は次のとおりです。

① 個人情報の内容

氏名、生年月日、本籍、住所、電話番号、勤務先名、学校名、職業、顔写真、メールアドレス等です。

② 利用目的

利用は、本人確認、本人への通知・連絡、免状作成、免状交付状況に係る事項等の当センターの業務の範囲内で行います。

2 当センターは、利用目的の達成のため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。その場合の業務委託処理は、個人情報を保護するための措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務機器等の安全対策を確実に実施しています。

なお、個人情報の提供は、団体受験に関し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限定し適切に取り扱います。

危険物取扱者免状をお持ちの方へ

- 免状の写真は10年ごとに写真書換が必要です。今お持ちの免状の顔写真の下に表示されている期限を過ぎている方や、期限が表示されていない免状をお持ちの方は速やかに写真書換を行ってください。
- 免状に記載されている氏名・本籍・生年月日に変更や修正がある方は、速やかに書換手続きを行ってください。
- すでに免状をお持ちの方は試験合格後に免状の提出が必要になります。
免状を紛失された方は事前に再交付手続きを済ませてください。免状の提出がない場合、合格された種類の免状を交付できませんので、ご注意ください。

試験案内に関するお問い合わせ先

一般財団法人 消防試験研究センター青森県支部

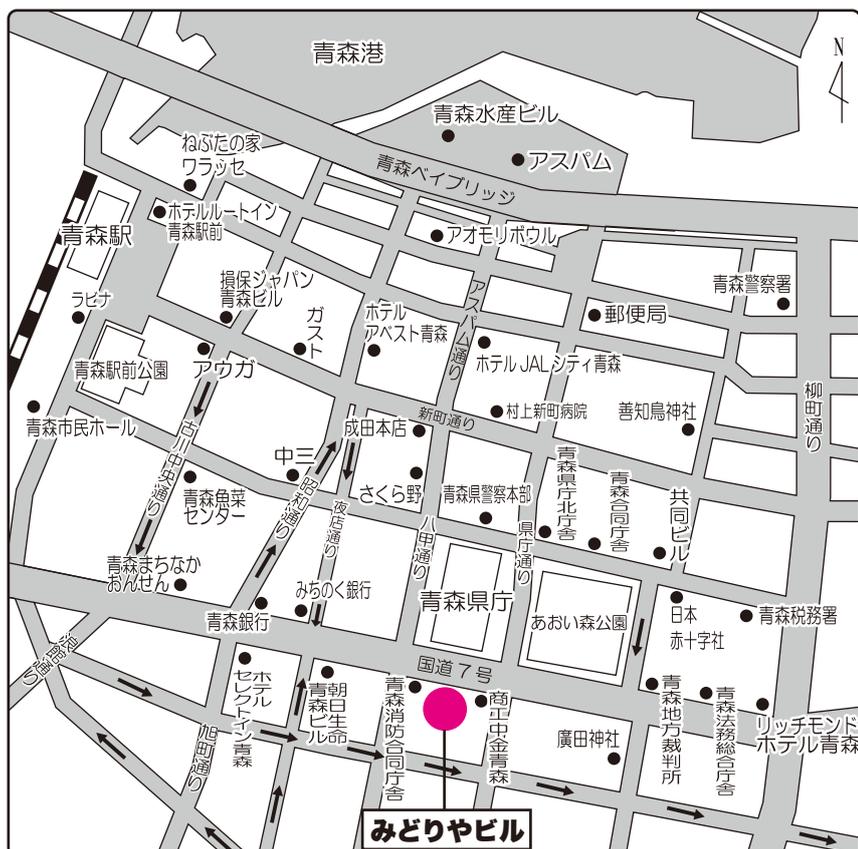
住 所：〒030-0861 青森県青森市長島2-1-5 みどりやビル4階

受付時間：平日午前9時～午後5時(土日祝祭日、年末年始を除く。)

電 話：017-722-1902 F A X：017-722-1909

※当センターは試験実施機関であり、試験のための講習会や参考書等の販売は一切行っていません。

【青森県支部周辺地図】



◇アクセス◇

- ・青森駅から徒歩10分
- ・バス停「県庁前」から徒歩1分
- ・バス停「古川」から徒歩3分

・お車でお越しになる方へ
みどりやビルには立体駐車場がありますが、駐車できる車の高さは、155cmまでとなります。

立体駐車場を利用できない場合は、近隣の有料駐車場をご利用ください。駐車料金は自己負担となります。なお、事故や駐車に関するトラブルは、当センターでは一切責任を負いません。

受験願書を提出する前の最終確認をお願いします。

願書の内容や証明書類に、今一度、不備・不足がないか(6～7ページ参照)を確認し、お申し込みください。また、この試験案内は試験合格後の手続きも掲載していますので、合格発表までは、大切に保管してください。試験に関する情報や、各支部からの重要なお知らせは、当センターホームページ(<https://www.shoubo-shiken.or.jp>)をご覧ください。特に、台風等の自然災害、特別警報や感染症等の流行、その他の特別な事情・事故等により、予定している試験を中止又は延期する場合があります。また、試験日時又は会場変更のお知らせや、緊急なお知らせを掲載しますので、試験日前や試験当日は、事前にホームページをご確認くださいようお願いいたします。

〒030-0861

青森県青森市長島2-1-5 みどりやビル4階

一般財団法人 消防試験研究センター

青森県支部 行

(危険物取扱者試験受験願書在中)



受験願書を青森県支部へ郵送する際、宛名ラベルとしてご利用ください。